

JITAN PRESS

北海道科学大学短期大学部 広報誌【ジタンプレス】

Vol.17

“JITAN”は旧大学名
北海道自動車短期大学
の愛称です。

平成27年3月2日(第17号)
発行／北海道科学大学短期大学部

ありがとう！中の島キャンパス そして前田キャンパスで始まる新しい歴史の1ページ

昭和28年(1953年)、日本で最初の自動車工学を専門とする高等教育機関として開学した本学は今年で開学63年目を迎えました。開学以来、札幌市豊平区中の島にキャンパスを置き、2万7000名を超える卒業生を社会に送り出していましたが、いよいよ今年3月、中の島キャンパスに別れを告げ、札幌市手稲区前田に位置する北海道科学大学の広大なキャンパス内に移転することになりました。

中の島キャンパスでは地域住民の温かい支援に支えられ、学生・教職員すべてが充実した日々を過ごすことができました。その感謝の気持ちと中の島キャンパスでのたくさんの思い出を忘れることなく、前田キャンパスでまた新たな歴史を刻み続けていきたいと思っています。



交通至便な中心部にありながら、静かな落ち着いた環境の中の島キャンパス。ここで多くの歴史が作られました。

平成26年度 丁酉会総会 「ありがとう中の島キャンパス」を終えて

丁酉会会长 九谷田 旭



平成26年9月6日(土)に思い出がついた中の島キャンパスに別れを告げる平成26年度丁酉会の総会が開催されました。「ありがとう中の島キャンパス」と題して行われた総会では、校舎・キャンパス内を自由に見学できる最後のチャンスとあり、大変多くの方にご参加いただきました。懐かしい先生や卒業生による記念講演などの後、学生ホールに場所を移し、懇親会も行われました。懐かしい校舎、懐かしい学友。参加者一人ひとりが学生時代にタイムスリップしたかのような貴重な時間となりました。

中島キャンパスの年表

1953(昭和28)年	北海道自動車短期大学開学 自動車工業科設置
1957(昭和32)年	丁酉会(同窓会)発足
1963(昭和38)年	学科設置(工業経営科および自動車工業科二部)
1965(昭和40)年	現1号館増築竣工
1968(昭和43)年	尚志館(体育館)竣工
1977(昭和52)年	技術研究館(現3号館)竣工
1979(昭和54)年	学科名称変更(自動車工業科を自動車工業科第一部、自動車工業科二部を自動車工業科第二部に変更)
1985(昭和60)年	学生食堂竣工
1987(昭和62)年	2号館竣工
1989(平成元)年	学科名称変更(工業経営科を情報経営システム学科に変更) 交通科学総合研究所開設
1992(平成4)年	学科設置(電子機械工学科)
2001(平成13)年	ボディリペア実習場竣工
2002(平成14)年	学科廃止(情報経営システム学科および電子機械工学科)
2003(平成15)年	専攻科設置(自動車工学専攻および車体工学専攻)
2011(平成23)年	短期大学基準協会による認証評価で適格認定 交通科学総合研究所廃止
2014(平成26)年	大学名称変更(北海道自動車短期大学を北海道科学大学短期大学部に変更) 専攻科廃止(自動車工学専攻)
2015(平成27)年	前田キャンパスへ移転



北海道科学大学短期大学部
+Professional
(旧北海道自動車短期大学)

「NISMO」で活躍中の卒業生による 公開授業が行われました

平成26年9月29日(月)本学においてニッサンモータースポーツインターナショナル株式会社(通称「NISMO」)で活躍している卒業生2名を講師に迎え、仕事の楽しさ・厳しさについて語っていただきました。内容は「レースメカニック、エンジニアの仕事とは?」と題した吉田昌信氏によるモータースポーツに携わるメカニック、エンジニアの仕事やSuperGTレースの話など日産自動車、NISMOチームならではの裏話と、山岡大地氏による「NISMO・レースマシン開発の裏話」と題したレースマシン開発の裏側を通して、日産自動車やNISMOの高度な技術の紹介の2本立てでした。どちらの話もとても興味深く、参加した学生からはあこがれのため息が聞かれました。



▲写真(左)講師の山岡大地氏、(右)吉田昌信氏

吉田 昌信氏

ニッサンモータースポーツインターナショナル株式会社
レース部/レースエンジニアリンググループ
1988年3月 北海道自動車短期大学自動車工業科第一部卒業
同年4月 ニッサンモータースポーツインターナショナル㈱に入社
1999年1月 GT選手権ニスモGT500 車両のチーフメカニック
2003年1月 NISMOを退社し、NASCARに参戦
2004年2月 NISMOに復帰し、Supergt選手権GT500車両のエンジニア
2006年1月 SuperGT選手権GT500、23号車のトラックエンジニア
2014年1月 SuperGT選手権GT500チーフエンジニア、ミシュランタイヤ開発エンジニア
現在に至る

山岡 大地氏

ニッサンモータースポーツインターナショナル株式会社
1995年3月 北海道自動車短期大学自動車工業科第一部卒業
同年4月 高田工業㈱に入社
2003年3月 同社退社
同年4月 ニッサンモータースポーツインターナショナル㈱に入社
現在に至る

アクシデントにも負けなかった学生研修旅行

平成26年度の学生研修旅行は学生19名、引率教員2名の計21名が参加して、平成26年10月13日(月)～10月16日(木)の3泊4日で中部方面を訪れました。台風19号の影響で実施が危ぶまれましたが、無事に中部国際空港に到着。当初の見学予定を変更するというアクシデントがありました。2日目以降は好天に恵まれ、トヨタ本社・堤工場・多治見サービスセンター、トヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館、(株)デンソー本社、セントレア水素ステーションを見学して全員無事に帰りました。レクサスLFAの試乗など、いずれの見学先でも特別な配慮をいただき、有意義な研修旅行となりました。



あこがれの多田チーフエンジニアに会えた。 それだけで一生の思い出になりました。

今回の研修旅行で一番楽しみだったのはトヨタ本社で「トヨタ86」の開発チームの多田チーフエンジニアにお会いすることでした。最初に講演会があり、自動車のおもしろさ、奥深さを教えていただいた後、一緒に昼食をとる時までいただきました。あこがれの存在とあっ

て、最初は話しかけることもできなかったのですが、何を尋ねても真剣に応えてくださいり、私達も安心いろいろな質問をすることができました。今回の研修旅行で自動車の魅力をさらに知ることができましたので、今後の学修にも役立てていきたいと思います。



(左)
自動車工業科1年
小野 圭一さん
(右)
自動車工業科1年
横田 和也さん

短大部での最後の単独開催 好プレー連発の体育大会

平成26年10月10日(金)に中の島キャンパスで最後となる体育大会を開催しました。毎年大きな盛り上がりを見せる体育大会ですが、今年もクラス対抗で、バレーボール、卓球、フリースロー、綱引きの4つの競技に挑みました。優勝チームには豪華な景品が当たるとあってどのクラスも一丸となって戦い、大いに盛り上がる一日となりました。



総合成績	
1位	1年C組
2位	2年H組
3位	2年E組
4位	2年B組



平成26年度 就職内定状況

過去最高の利益を上げている自動車業界。自動車整備士は売り手市場が続いています。

新聞やテレビでも報じられているとおり、自動車業界においては過去最高の利益を更新する企業が続出しています。自動車は新車・中古車を問わず売っていますが、その整備に関わる自動車整備士の不足は深刻化しており、本学にも例年に増して多くの求人が寄せられました。

そんな売り手市場の影響から今年はのんびりと構えている学生も多く、就職内定の出足が遅かったのが現状です。しかし内定が出始めると一気にポイントが上がり、現在では97%を超える学生が内定しています。今年の傾向としては、

今までのように有名な大手ディーラーなどに10名以上の学生がまとめて採用されるというのではなく、学生一人ひとりが自分の興味のある分野・自分のやりたいことができる会社をじっくりと選んだ結果、いろいろな会社に幅広く採用されています。

残念ながら道外企業を希望する学生は少なく、札幌を中心とした地元志向が続いているが、これからの中学生諸君には思い切って道外企業にも目を向け、自分の持っている可能性をとことん試してほしいと思います。



最後は会社を訪問し、自分の目で確かめて決めました。

自動車工業科2年
渡辺 賢斗さん

高校の電気科を卒業したので、自動車工業の中でも電気関係に興味がありました。合同企業説明会では電気関係の企業に絞って話を聞きました。その中でも今回内定を頂いたデンソーセールスは初期研修がしっかりといるということで、魅力を感じました。合同企業説明会で「ぜひ一度会社に来てください」と言っていただきましたので実際に訪問。自分の目でいろいろなことを確かめて、「ここで働きたい」と心から思うことができました。



就職支援委員長
芳賀 誠一

平成26年度 内定企業一覧

[順不同、法人格名省略、平成26年12月26日現在]

- 自動車販売業／札幌トヨタ自動車、札幌トヨペット、トヨタカローラ札幌、ネッツトヨタ札幌、ネッツトヨタ都道、札幌日産自動車、北海道日産自動車、日産プリンス札幌販売、ホンダカーズ札幌中央、ホンダカーズ南札幌、Honda Cars 札幌西、ホンダ四輪販売北海道、北海道スバル、北海道マツダ販売、ダイハツ北海道販売、スズキ自販北海道、道央スズキ、UDトラックス北海道、北海道いすゞ自動車、モトーレン札幌、SGモータース、イデアリ、東北海道日野自動車、函館トヨタ自動車、ネッツトヨタ苫小牧、旭川トヨタ自動車、旭川日産自動車、ホンダベルノ旭川、トヨタカローラ道北、北見トヨペット、十勝三菱自動車販売、釧路トヨタ自動車、UDトラックス
- 自動車関連販売業／エム・エス・ケー農業機械、コベルコクレーン、トヨタL&F札幌、オートバックス北海道、デンソーセールス北海道支社、北海道川重建設機
- 自動車整備業／滝川工自、林自工、クリエ、日通機工、北海道産業、車体工房札幌
- 金融・保険業／あいおいニッセイ同和損害調査
- 運輸業／北海道中央バス
- 卸・小売業／北海道エネルギー
- 教育、学習支援業／札幌地方自動車整備振興会

平成26年度後学期 成績優秀奨学生決定!

人物・学業成績ともに優れ、向学心が旺盛な学生を対象とした本学独自の「後学期成績優秀奨学生」が決定しました。奨学生に選ばれた学生には一人ひとりに副学長から証書が手渡され、さらなる精進を期待するとの励ましを受けました。

平成26年度後学期成績優秀奨学生

自動車工業科第一部	瀬戸 真行
自動車工業科第一部	川島 佑斗
自動車工業科第一部	辻 聖也
自動車工業科第一部	川口 優太
自動車工業科第一部	千葉 拓斗
自動車工業科第二部	井上 公博
車体工学専攻	近藤 大貴



2回連続で選ばれたことを心から誇りに思っています。



自動車工業科2年
瀬戸 真行さん

前回も成績優秀奨学生に選んでいただきましたが、残念ながら順位は2番目でした。今回は「絶対トップを取ってやるぞ」と心に誓って努力してきましたので1位になったと聞いたときは本当にうれしかったです。ここまで頑張ってこれたのも、いつも何も言わず見守ってくれた両親のおかげと感謝しています。ここで学んだことを忘れずに社会人として頑張りたいと思います。

北海道科学大学短期大学部セーフティラリー

平成26年7月1日(火)～10月31日(金)の間、学生・教職員の交通安全意識を高めるために開催されていた『セーフティラリー』の閉会式が平成27年1月16日(金)に行われ、結果が発表されました。今年度は学生・教職員合わせて178名、48チームが参加しましたが、達成チーム数は31チーム、達成率64.6%という結果になりました。今後も交通安全の意識を忘ることなく、学生・教職員とともに無事故・無違反に努めていきたいと考えています。



保護者懇談会を開催

平成26年9月20日(土)保護者懇談会を開催しました。日頃の学生生活や学業成績に関する担任教員との面談のほか、間近に控えたキャンパスの移転や就職活動、奨学金についての説明などを行いました。多くの保護者の方々にご参加いただき、有意義な懇談ができました。



日頃の研究成果を発表する貴重な体験 「学生研究発表会」

平成27年2月4日(水)、本学視聴覚教室において「平成26年度 学生研究発表会」が行われました。担当教員の指導の下で、何か月にもわたって研究・実験などを重ねてきた成果をたくさんの聴衆の前で発表するという初めての経験に緊張した学生もいたようですが、どの研究内容も興味深く、発表も立派なものでした。発表後には質疑応答が行われ、高いレベルでの意見の交換が行われていました。

演題	研究発表者氏名
四輪自動車のレストア手法について ～経年変化によるボディー及び内装の補修について～	自動車工業科第一部 川上 翼 千葉 拓斗
融雪剤による錆の影響	自動車工業科第一部・研究生 高瀬 潤
ランチェスターのFRP化 ～FRPの成形と基礎習得～	専攻科車体工学専攻 二宮 正則 上田 隆太
エアブラシの使用方法及び塗装方法に関する考察	専攻科車体工学専攻 山本 和輝 賽 喜雅拉圖
自動車の周囲の空気の流れを確認する装置の製作	自動車工業科第一部 瀧川 裕太
自動車模型におけるリヤウイングの効果の検証	専攻科車体工学専攻 大泉 岳 横田 直仁 近藤 大貴
外部診断機による制動前速度の推定 ～外部診断機の表示速度と制動前速度の差の検討～	専攻科車体工学専攻 小野寺 智行 中島 隆宏 増田 竜也



ポリッシャーやシートの洗浄は
とても大変な作業でした。

「四輪自動車のレストア手法について」と題して、経年変化による劣化したボディや内装の補修・清掃をテーマに研究しました。特にシートの洗浄はいくら洗っても泡がなくならず大変でしたが、努力すればするだけきれいになっていくことに達成感も覚えました。

発表は緊張ましたが、とてもよい経験になったと思います。



(左) 自動車工業科2年 千葉 拓斗さん (右) 自動車工業科2年 川上 翼さん

「こどものづくり体験教室」を開催

平成26年12月6日(土)、札幌市青少年科学館において北海道経済部のものづくり産業グループが主催して本学が指導協力にあたった「こどものづくり体験教室」が行われました。小学3年から6年生までの児童とその保護者約80名を対象に『小型単気筒レシプロエンジンの分解・組立』を体験してもらうなどのイベントで、子供たちは使い慣れないドライバーなどの工具に苦戦しながらもエンジンをバラバラにし、再度組み立てるという経験に夢中になっていたようです。



「さっぽろエコドライブ活動セミナー」 にて金子友海准教授が講演

平成27年1月19日(月)、札幌エルプラザにおいて札幌市の環境保全事業のひとつである「札幌エコドライブ活動セミナー」が開催され、本学の金子友海准教授による『エコドライブ活動の進め方』と題した講演が行われました。企業における継続的・効果的なエコドライブの推進方法をテーマに行われた講演には各企業の代表者や総務関係者などが大きな関心を寄せ、講演後の質疑応答も盛況でした。



4月以降は右記の住所・電話番号に変わります。

前田キャンパスへの移転に伴い、4月1日より大学の住所・電話番号などが変更になります。電話は北海道科学大学の代表につながります。

平成27年4月から

〒006-8585
北海道札幌市手稲区前田7条15-4-1
TEL: 011-681-2161 (代)



北海道科学大学短期大学部

(旧北海道自動車短期大学)

〒062-0922 北海道札幌市豊平区中の島2条6丁目2番1号
TEL: 011-821-0175 FAX: 011-821-7300

HP : www.hus.ac.jp

学生支援課 ☎ 0120-509-241

